

第 23 章 調査結果の保存・活用

目 次

第 1 節	総説	1
1. 1	目的	1
1. 2	調査結果の保存	1
1. 3	調査結果の品質確保	1
1. 4	電子データのバックアップ	1
1. 5	情報管理体制の構築	1
1. 6	共通仕様	1
1. 7	調査結果の活用	1
1. 8	データベースの活用例	2
1. 9	地理空間情報の活用	2

平成 26 年 4 月 版

第23章 調査結果の保存・活用

第1節 総説

1. 1 目的

<考え方>

本章は、調査により得られた成果（以下、「調査結果等」）を保存し、有効に活用するための基本的考え方を示すことを目的としている。調査結果等は、河川等の計画、設計及び維持管理等のための基本的情報であり、適正な精度を有した調査結果等が、適切に保存・管理され、有効に活用されることが重要である。

1. 2 調査結果の保存

<考え方>

調査結果等については、その使用目的に応じて適切な方法で保存し、蓄積するとともに、できるだけ電子化し、電子データとして保存されることが重要である。

1. 3 調査結果の品質確保

<標準>

保存する調査結果等に関しては照査等により適切な品質を確保することを標準とする。水文資料の照査方法については、第2章 第5節 水文資料の整理・保存と品質管理 によるものとする。

1. 4 電子データのバックアップ

<標準>

電子データを保存したデータベースについては、2重以上のバックアップ体制をとり、システム障害等に備えることを標準とする。

1. 5 情報管理体制の構築

<考え方>

調査結果等が適切に保存され、有効に活用されるよう、適切な情報管理体制を構築することを標準とする。

1. 6 共通仕様

<推奨>

調査結果等のうち、電子データについては有効に活用するために相互に利用できることが重要である。したがって、データ仕様の共通化を進めることが望ましい。また、仕様の共通化に当たっては河川管理データだけでなく、その他の国土管理データなど、関連して利用されるデータの仕様にも配慮して検討することが望ましい。

1. 7 調査結果の活用

<考え方>

調査結果等は適切に保存され、必要に応じて取り出しやすいように整備し、活用されることが重要である。電子データについては、データベースを整備し、効率的に活用する工夫をすることが大切である。加えて、他機関が整備したデータベースについても、できるだけ有効に活用することが重要である。

< 推 奨 >

河川等のデータベースを効率的に利用するために、水・物質循環解析ソフトウェア共通プラットフォーム（CommonMP）が開発されている。

水文・水質データベースからのデータ取得機能を活用したデータ整理や、水理計算の実施、GISを活用した結果の表示等、CommonMPを利用して、調査結果等を有効に活用することが望ましい。

1. 8 データベースの活用例

< 例 示 >

河川等の調査結果等に関する既存のデータベースとしては、以下のような事例がある。

河川等の調査結果等に関する既存のデータベース事例

データベース (DB) 名称	管理者 【提供方法】	現在の状態 (2011年4月)	データ項目の概要
水文・水質DB	河川情報企画室 【水情報国土より提供】 http://www5.river.go.jp/index.html	①統一河川情報システムと連携させて稼働中 ○H8年度管理者向けデータベースシステム構築 ○H14年度公開用データベースシステム構築	・雨量 ・水位 ・流量 ・水質 ・地下水位 ・地下水質 等
河川環境DB	河川環境課 【水情報国土より提供】 http://www5.river.go.jp/index.html	①河川水辺の国勢調査をDB化している ○H12年度データベースシステム構築	・魚介類調査 ・植物調査 ・底生動物調査 ・鳥類調査 ・河川空間利用実態調査 等
地盤力学情報DB (KuniJiban)	(独) 土木研究所 地質チーム 【国土地盤情報検索サイト KuniJibanより提供】 http://www.kunijiban.pwri.go.jp/jp/	①H20年度国土地盤情報検索サイト (KuniJiban)を公開 ②サイトではXMLにて提供 ○関連DB ・地下構造DB (防災科学技術研究所) ・地質情報DB (産業技術総合研究所)	・柱状図 ・土質試験結果 等
国土数値情報	国土計画局 参事官室 【国計局GISホームページより提供】 http://www.mlit.go.jp/kokudokeikaku/gis/index.html	①国土計画局GISホームページ上に国土数値情報として、豊富なデータが提供されている。	地形、土地利用、公共施設、道路、鉄道等国土に関する地理的情報を数値化。メッシュ化したデータも多く、人口統計などほかの統計情報と併せて分析することが可能。特に土地に関する情報は時系列的に整備。
基盤地図情報 (航空レーザ測量・LP結果等)	国土地理院 【国土地理院ホームページより提供】 http://www.gsi.go.jp/kiban/index.html	①基盤地図情報として国土地理院のホームページより提供。水管理・国土保全局が計測した航空レーザ測量結果などが提供されている。	航空レーザ測量 (レーザプロファイラ調査) によるDEMデータのほか、航空写真によるDEMデータ、基準点などのデータを整備。

1. 9 地理空間情報の活用

< 標 準 >

取得したデータについては、位置情報と関連付けた地理空間情報として保存、活用できるようにすることを標準とする。